

令和4年度 学校関係者評価 最終評価

開催日：令和5年3月16日

評価基準 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

評価項目	自己評価	学校関係者評価
I. 教育理念・目標 (小項目5項目)	評価4.0	評価4.0
	<ul style="list-style-type: none"> 「2022 共通カリキュラム」においては卒業認定の方針 (DP)、教育課程編成・実施の方針 (CP)、入学者受入れの方針 (AP) を明文化した。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育理念、教育目的、DP、CP、AP を示し学生便覧、シラバスに明記している。
II. 学校運営 (小項目8項目)	評価3.8	評価3.8
	<ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務の削減にむけ、メールでの情報共有を行い、業務の進捗状況を把握しフォローができるようにしている。 ハラスメント対策については、教員全員が研修会に参加し取り組んでいる。 外部施設間の教員研究会、会議は WEB とし移動時間の削減や業務に集中できるなど効率化を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も COVID-19 の影響がありながらも業務を続けられるような体制づくりに尽力を願う。 コンプライアンスに取り組んでいくための学校内の体制について記載をお願いする。
III. 教育活動 (小項目16項目)	評価3.7	評価4.0
	<ul style="list-style-type: none"> Zoom での講義ではグループワークやチャットを活用するなど双方のやり取りの工夫を行った。 感染対策の緩和に伴い、1月から教室での講義は80名合同、実習室及び情報科学室での演習は40名に変更した。 授業評価を集計しているが、講師には終講試験終了後にタイムリーに返却できなかった。 研究授業を各教員につき年1回実施を計画している。毎月1〜2回実施できるように年間計画に沿って取り取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業評価の実施・評価体制は整っている。講師にはタイムリーに返却をお願いするとよい。 教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われている。
IV. 学修成果 (小項目5項目)	評価3.2	評価3.4
	<ul style="list-style-type: none"> 卒業生全員の就職先、進学先が決定した。県内就職率90.5%、前年度78.7%、NHO 病院への就職率81.1%、前年度68.0%である。前年度よりも就職率が増加し県内、NHO へ貢献ができた。 国家試験模試で前回より成績が下がった、停滞中の学生には個別に面談を行い、学習方法の助言を行った。 退学者数は前年度と横ばいである。学習や体調に不安がある場合は面談を随時、行い支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> 採用試験対策を実施し、今年度の就職希望者は全員就職できており、採用試験対策は有効と考えられ、引き続きお願いする。 学習や体調に不安がある学生への支援引き続きお願いする。
V. 学生支援 (小項目10項目)	評価3.8	評価4.0
	<ul style="list-style-type: none"> 各学年に対して就職・進学支援を行った。 附属病院協力のもと希望する学生はワクチン接種ができた。 入学式後、誓いの式後の保護者会を開催し学生の学習状況や進路、学校生活について説明を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路・就職に関する支援体制は、適切に整備されている。 式典後に保護者説明会の開催や必要に応じて保護者と面接を行うなど適切に連携している。
VI. 教育環境 (小項目3項目)	評価3.3	評価3.3
	<ul style="list-style-type: none"> 前期は教室の人数制限を行っていたが、後期は対面授業に戻し、教室、情報科学室、実習室の人数制限を解除した。 COVID-19 の感染対策として、訪問看護ステーションは学内実習としていたが12月から臨地実習をしている。 学生への緊急時の連絡方法は、メールが定着している。災害時の状況把握は Google フォームを活用するようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19 の感染防止対策を行いながら、教育上の必要性に対応できるように整備されている。
VII. 学生の受け入れ募集 (小項目3項目)	評価4.0	評価4.0
	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年3月閉校に伴い今年度学生募集活動は行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題はない
VIII. 財務 (小項目4項目)	評価3.5	評価3.5
	<ul style="list-style-type: none"> 学生を含めた経費削減の意識改革を行っている。節電を促すポスターを掲示し学生にも協力依頼し節電対策を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 電気料の高騰などに伴い厳しい状況にある。
IX. 法令等の遵守 (小項目5項目)	評価3.8	評価4.0
	<ul style="list-style-type: none"> 式典後に WEB で保護者会を開催し学則や教育計画、閉校について説明を行った。保護者会后、学生を通して保護者会資料を配布し情報共有を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 学生や保護者が自由に意見の言える体制が整備されている。
X. 社会貢献・地域貢献 (小項目3項目)	評価3.7	評価3.7
	<ul style="list-style-type: none"> 関東信越グループ内の NHO 附属養成所を対象にした研究授業を2回 WEB 開催することができた。 学生の自治会活動としてクリスマスカードを配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> NHO 附属養成所対象の研究授業を開催しており、社会貢献・地域貢献を行っている。

1. 学校経営基盤の安定化

学校経営安定のために、高額となる教材・教具などは計画的に整備していくこと、また、経費削減に向けてのエコ活動について具体的に取り組む内容を挙げて今年度実施してきました。特に電気料の高騰など費用がかさむ状況にあるため、引き続き学生への意識啓発も重要と考えます。学生参加型の活動（エコプロジェクト・5S）も継続して、学校経営基盤の安定のために経費削減に向け努力をお願いします。

2. 教育内容の質の向上

国家試験合格率に向けて3年間の支援体制は構築されており、試験対策も実施されてきました。特に3年生へは模擬試験の結果から、個別支援についても検討し、計画的に実施しました。Zoomによる授業、VODによる授業ともに学生の意見を聞き、授業の改善に務めていました。また、教員間でアクティブラーニングの学習会を開催しており、学生の学習意欲の維持向上に向けて効果的に活用できるように来年度も引き続き努めるようお願いいたします。

COVID-19の感染状況に合わせながら学習環境を確保し、効果的な臨地実習に向けて実習指導体制を構築しており、学習が進められていました。教員の負担が大きいと推察しますが、来年度も引き続き対応をお願いいたします。

3. 教員の教育力・管理能力の向上

研究授業を実施し、また、オンラインを活用して県内看護師養成所教員に向けた公開講座も積極的に開催し、他校の教員と有意義な意見交換を行ったことは教員の教育力の向上に繋がる取り組みができたと考えます。そして、看護教員に必要な能力獲得のための取り組み、学会での研究発表も行われており、教育力の向上に向けた取り組みが積極的に行っていました。

4. 学生支援の強化

就職希望者全員の就職が決まり、そして、県内就職率が9割であったことは、キャリア支援プロジェクトチームを中心に就職・進路に関する支援を計画的に行ってきた成果と考えます。また、学生間の交流についても支援を実施しており、自治会活動もWebを用いて活動して3学年の交流は行えています。引き続き学生間の交流支援をお願いいたします。

5. 閉校に関連した準備を計画的に進める。

設備を丁寧に使用して、学籍簿や備品の整理を計画的に進めてください。

令和4年度 学校間評価（国立病院機構高崎総合医療センター附属高崎看護学校）

開催日：令和5年3月15日 評価基準 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

評価項目	自己評価	学校間評価
I. 教育理念・目標 (小項目 5 項目)	評価 4.0 ・「2022 共通カリキュラム」においては卒業認定の方針 (DP)、教育課程編成・実施の方針 (CP)、入学者受入れの方針 (AP) を明文化した。	評価 4.0 教育理念、目的、教育課程に則った学生の教育内容が明文化されている。
II. 学校運営 (小項目 8 項目)	評価 3.8 ・時間外勤務の削減にむけ、メールでの情報共有を行い、業務の進捗状況を把握しフォローができるようにしている。 ・ハラスメント対策については、教員全員が研修会に参加し取り組んでいる。 ・外部施設間の教員研究会、会議は WEB とし移動時間の削減や業務に集中できるなど効率化が図った。	評価 3.9 教育目的及び学校事業目的に沿った運営計画が策定され、実行されている。学生及び教員に対するコンプライアンス体制が整っており、遵守できている。COVID-19 に対する対策も ICT 等を利用し、学生の学習の確保ができるよう情報発信をタイムリーにできている。
III. 教育活動 (小項目 16 項目)	評価 3.7 ・Zoom での講義ではグループワークやチャットを活用するなど双方のやり取りの工夫を行った。 ・感染対策の緩和に伴い、1 月から教室での講義は 80 名合同、実習室及び情報科学室での演習は 40 名に変更した。 ・授業評価を集計しているが、講師には終講試験終了後にタイムリーに返却できなかった。 ・研究授業を各教員につき年 1 回実施を計画している。毎月 1～2 回実施できるように年間計画に沿って取り取り組んだ。	評価 3.7 教育理念に沿った人材の育成、キャリア支援を入学時より段階的に実践している。また、専門職業人育成のための講義や臨地実習など協力機関との連携を図りながら効果的な学習体制を整えている。また、教員のキャリア形成に対する取り組みも積極的に行っており効果が出ている。
IV. 学修成果 (小項目 5 項目)	評価 3.2 ・卒業生全員の就職先、進学先が決定した。県内就職率 90.5%、前年度 78.7%、NHO 病院への就職率 81.1%、前年度 68.0%である。前年度よりも就職率が増加し県内、NHO へ貢献ができた。 ・国家試験模試で前回より成績が下がった、停滞中の学生には個別に面談を行い、学習方法の助言を行った。 ・退学者数は前年度と横ばいである。学習や体調に不安がある場合は面談を随時、行い支援した。	評価 3.6 ・就職及び進学、国家資格取得に向けた支援体制を整え、1 年次より段階的に行っており、NHO 及び社会に貢献できる人材の育成ができてい る。 ・国家試験支援体制を整え、成績状況に合わせた指導を実施している。 ・240 名の定員の中で 2 名の退学者となっていることは、教員のサポート体制が整っている。
V. 学生支援 (小項目 10 項目)	評価 3.8 ・各学年に対して就職・進学支援を行った。 ・附属病院協力のもと希望する学生はワクチン接種ができた。 ・入学式後、誓いの式後の保護者会を開催し学生の学習状況や進路、学校生活について説明を行った。	評価 3.9 学生の生活、健康、経済に関する支援体制を整え実践できている。保護者との連絡調整も適宜実施できている。また、卒業生への支援として同窓会との連携と共に、ホームカミングディを開催している。お互いの近況を報告する場として卒業生への支援体制が整っている。
VI. 教育環境 (小項目 3 項目)	評価 3.3 ・前期は教室の人数制限を行っていたが、後期は対面授業に戻し、教室、情報科学室、実習室の人数制限を解除した。 ・COVID-19 の感染対策として、訪問看護ステーションは学内実習としていたが 12 月から臨地実習をしている。 ・学生への緊急時の連絡方法は、メールが定着している。災害時の状況把握は Google フォームを活用するようになった。	評価 3.3 COVID-19 に対する対策として ICT 整備、講義及び臨地実習方法の工夫により、学生の学習環境の整備を実施している。また、災害時に対する対策も体制が整っている。
VII. 学生の受け入れ募集 (小項目 3 項目)	評価 4.0 ・令和 7 年 3 月開校に伴い今年度学生募集活動は行っていない。	評価 4.0 学生募集はしていないが、在校生の授業料等の納付は適正にできている。
VIII. 財務 (小項目 4 項目)	評価 3.5 ・学生を含めた経費削減の意識改革を行っている。節電を促すポスターを掲示し学生にも協力依頼し節電対策を行っている。	評価 3.5 予算計画に則り必要な教材購入が行われている。また、学生と共に、エコ活動、節電活動が効果的に実践できている。
IX. 法令等の遵守 (小項目 5 項目)	評価 3.8 ・式典後に WEB で保護者会を開催し学則や教育計画、閉校について説明を行った。保護者会后、学生を通して保護者会資料を配布し情報共有を行った。	評価 3.8 法令に基づき、個人情報の管理、第三者による学校評価を実施し、公正・公平な学校運営を行っている。
X. 社会貢献・地域貢献 (小項目 3 項目)	評価 3.7 ・関東信越グループ内の NHO 附属養成所を対象にした研究授業を 2 回 WEB 開催することができた。 ・学生の自治会活動としてクリスマスカードを配布した。	評価 3.7 県内の高校生を対象として公開講座や臨地実習病院の患者を対象としたボランティア活動など地域への貢献を行っている。

総評

自己点検・自己評価の結果は、昨年度と比較し、ほぼ昨年度を上回っている。コロナ禍ではあったが、学校としての取り組みの成果が出ている。新カリキュラムにおける学習方法の中心であるアクティブラーニングについても積極的に実践し、学校全体で検討会を重ねながら評価できている。

昨年度よりも評価の低かったⅢ教育活動については、コロナ感染拡大に伴い臨地実習の制限がかかったことが原因であると考えられる。実際の臨地での実習内容を補うため、学内でのシミュレーション学習の内容や方法を工夫しており、看護実践能力の獲得のための努力は評価できる。

閉校が決定している中、確実に学生を卒業させるための具体的な計画に基づき、学生の生活及び学習に対してきめの細かい指導がされていることが伺える。その1つとして、前期退学者が2名と少ないことは、教員の手厚いサポート体制の成果であると考えられる。最近では、看護師になりたいという明確な目標をもって入学する学生の割合が少なくなっており、入学後に進路変更する学生や人間関係や実習でのコミュニケーションの困難さから躓く学生もいる。入学した学生を看護師に育てることが学校としての使命である。しかし、学生個々の将来を考慮することも必要であり、一人ひとりに合わせた対応には苦慮するところである。

さらに、NHO 病院への就職率が前年度に比較し飛躍的に上昇しており、就職支援に尽力していることが伺える。NHO 病院の採用枠が減少している中での成果は大いに評価でき、NHO への貢献度は非常に高い。

全体的に、教員一人ひとりが各自の役割を明確に理解し、責任を確実に果たしていることが、計画の内容や実施内容から非常によくわかる。例えば経費削減という学校運営目標を達成するために教員と学生と一緒に「5S・エコ活動」を実践しており、学生の力を最大限に引き出すかわりができていると共に学生との良好な関係が伺え、大いに評価できる。

教育内容、授業の工夫、教員の業務内容、学生指導において見習うべきことが多くあり、参考にさせていただきたい。

令和4年度 学校関係者評価 中間評価

開催日：令和4年10月20日

評価基準 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

評価項目	自己評価	学校関係者評価
I. 教育理念・目標 (小項目5項目)	評価4.0	評価4.0
	・「2022 共通カリキュラム」で卒業認定の方針 (DP)、教育課程編成・実施の方針 (CP)、入学者受入れの方針 (AP) を明文化した。	・教育理念、教育目的、DP、CP、AP を示し学生便覧、シラバスに明記している。
II. 学校運営 (小項目8項目)	評価3.8	評価3.8
	・教職員への連絡等情報提供はメール等を活用できており、会議の時間短縮等、業務の効率化を図っている。 ・時間外勤務の削減にむけ、職員一人ひとりが現在どのような業務を行っているかわかるようメールでの情報共有を行い、進捗状況を把握しフォローができるようにしている。カリキュラム担当者の業務量軽減のためカリキュラムサポートチームを立ち上げ負担軽減を図っている。	・情報の提供、共有をメール等の活用、会議をWEBで実施しており、業務の効率化は図られている。 ・業務量の増加に対して体制を変更して対応に努めている。
III. 教育活動 (小項目16項目)	評価3.8	評価4.0
	・講義は対面型とZoomによる同時双方向型とビデオオンデマンド型の講義を組み合わせて行っている。Zoomではグループワークやチャットを活用するなど双方向のやり取りの工夫を行っているが積極的に参加できていない学生もありまだ課題が残る。 ・臨地実習ではCOVID-19の影響で実習時間の短縮や学内実習に変更となった。学内実習では、シミュレーション教育を取り入れ、学生個々の学習能力を考慮しながら指導してきた。	・シミュレーション教育を取り入れて看護専門分野のニーズを踏まえた人材育成や、技術の修得については練習時間を設けるなどして、到達レベルに達することができるように学習時間の確保を行っている。
IV. 学修成果 (小項目5項目)	評価3.0	評価3.0
	・キャリア支援担当が中心となり、採用試験対策を実施した。就職希望者は1名を除き、就職先が決定した。 ・模擬試験の採点結果を考察し、国家試験プロジェクト会議で伝達し、指導方法について話し合いを行っている。	・就職率の向上に向けて試験対策を行っている。 ・国家試験合格のための取り組みは行っているが、100%に達していない。
V. 学生支援 (小項目10項目)	評価3.8	評価4.0
	・キャリア支援プロジェクトチームを中心に進路・就職に関する支援の企画を立案し運営している。 ・COVID-19の感染拡大防止のため、自治会活動などは一部Webを用いて活動し、3学年交流の機会を設けている。 ・ホームカミングデイを開催し、近況報告ができた。	・進路・就職に関する支援体制は、適切に整備されている。 ・同窓会組織との連携、ホームカミングデイの開催など、卒業生への支援体制はある。
VI. 教育環境 (小項目3項目)	評価3.3	評価3.7
	・COVID-19の感染防止対策として、教室の人数制限や、オンライン授業を増やしている。教室のインターネット環境を整えた。 ・感染状況に応じ、病棟実習と学内実習を併用している。学内実習では、視聴覚教材の活用、シミュレーションを取り入れ、学習体制を整えている。 ・避難訓練の実施、防災についてグループワークを行った。防災対策を考える良い機会となった。	・感染対策により、学内実習へ変更しているが、視聴覚教材の活用、シミュレーションを取り入れ教育体制を整えている。 ・防災に対する体制は整備されている。
VII. 学生の受け入れ募集 (小項目3項目)	評価4.0	評価4.0
	・令和7年3月閉校に伴い学生募集活動は行っていない。	・問題なし
VIII. 財務 (小項目4項目)	評価3.5	評価3.5
	・経費削減のための学生参加型の活動を推進した。電気料の高騰などに伴い、学生にも協力を依頼し節電対策を行っている。	・電気料の高騰などに伴い厳しい状況にある。
IX. 法令等の遵守 (小項目5項目)	評価3.8	評価4.0
	・実習記録については千葉医療センター個人情報取り扱いの規定に則った申請書等の運用している。	・職員、学生ともに情報管理対策がとられている。
X. 社会貢献・地域貢献 (小項目3項目)	評価3.7	評価3.7
	・県内看護師養成所の教員を対象に、当校の教育活動の取り組みについて公開講座を開催した。 ・COVID-19感染予防対策のため学生のボランティア活動は実施していない。	・看護師養成所の教員を対象に公開講座を開催しており、社会貢献・地域貢献を行っている。

1. 学校経営基盤の安定化

学校経営安定のために、高額となる教材・教具などは計画的に整備していくこと、また、経費削減に向けてのエコ活動について具体的に取り組む内容を挙げて実施しています。後期に向けても継続して実施してください。特に電気料の高騰など費用がかさむ状況にあるため、学生への意識啓発も重要と考えます。学生参加型の活動（エコプロジェクト・5S）も遂行して、学校経営基盤の安定のために経費削減に向け努力をお願いします。

2. 教育内容の質の向上

国家試験合格率に向けて3年間の支援体制は構築されており、試験対策も実施されています。3年生は模擬試験の結果から、夏休み前には学習支援が必要な学生を抽出して支援を行っていること、また、その他の学生への個別支援についても検討しており、計画的に実施しています。これから追い込みの時期に入ってきますので、引き続き対応をお願いいたします。

Zoomによる授業、VODによる授業ともに学生の意見を聞き、教員間で共有して、後期の授業の改善に努めるようお願いいたします。また、教員間でアクティブラーニングの学習会を開催するなどしており、効果的に活用できるように引き続き努めるようお願いいたします。

COVID-19の感染状況に合わせながら学習環境を確保し、効果的な臨地実習に向けて実習指導体制を構築することについては、前期に病棟実習から学内実習への変更に対応して実習を中止することなく学習が進められています。教員の負担が大きいと推察しますが、後期も引き続き対応をお願いいたします。

3. 教員の教育力・管理能力の向上

研究授業を実施し、また、オンラインを活用して県内看護師養成所教員に向けた公開講座も積極的に開催しており、教員の教育力の向上に取り組んでいます。そして、看護教員に必要な能力獲得のための取り組みも行われており、教育力の向上が期待できると考えます。

4. 学生支援の強化

就職・進路に関する支援体制は、キャリア支援プロジェクトチームを中心に計画・実施して整備されており、就職率の維持に努めています。自治会活動はWebを用いて活動して3学年の交流は行えており、引き続き学生間の交流支援をお願いいたします。

5. 閉校に関連した準備を計画的に進める。

閉校に向けて設備を丁寧に使用して、学籍簿や備品の整理を計画的に進めてください。